

事業所名

発達センターちよだ

支援プログラム

作成日

2025年

3月

3日

子ども像	ちよだでは、「こんな子になってほしい」という私たち保育者の願いです。子ども像をもとに、次のような視点を大切にしながら日々の保育をすすめていきます。 ○ みんなのえがおが好きで、人とつながる子ども ○ 大きくなりたいと願う子ども ○ ひとと一緒にたのしくあそび、好きなあそびがいっぱいある子ども ○ 自分のことが好きで、自分を大事にできる子ども								
療育の視点	・気持ちよく生活し、楽しくあそべるように、丈夫なからだづくりを大切にします。・いろいろなあそびを経験する中で、大好きなあそびを見つけ、楽しい気持ちを共感しあうことを大切にします。・四季を通して自然の中であそぶこと、本物に触れ実際に体験することを大切にします。・家族に寄り添い、みんなで子どもの姿をとらえあうことを大切にします。								
営業時間	9時	45分	15時	0分	送迎実施の有無	あり	なし	9時からの朝保育	17時までの日中一時支援
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	クラス懇談会・個人懇談会を通して、毎日の基本的な生活リズムの向上・形成の支援方法をそれぞれの家族形態にも合わせて、家族とともに検討し具体的なプログラムを実施していきます。クラスで給食を食べます。旬の素材を使った献立を大切に、給食室で手作りの給食です。はじめは苦手で食べられないものも多いかもしれませんが、食べられるものから、楽しく、おいしく食べる経験を積んでいきましょう。給食を通して、いろいろなものを食べる経験、いろいろな味に触れる経験を積み重ねることや、道具の使い方や姿勢、食べ方なども見ていきます。							
	運動・感覚	運動機能・感覚統合（5感）を意識した遊びづくりを通して、運動発達課題を整理していきます。また、四季を通して、ちよだの園庭や堤防などの自然環境でのあそびの中で、様々な経験を積み重ね、大好きなあそびを見つけ、楽しい気持ちを共感しあいます。家族に寄り添い、みんなで子どもの姿をとらえあうことを大切にします。お友だちや保育者とのあそびの中で、力加減やボディイメージ、コントロールする力を育みます。							
	認知・行動	たくさん絵本と出会う中で、絵本と“オンナジ”や、絵本と同じアイテムなどからイメージを膨らませ、それぞれが絵本の世界であそぶ楽しさを膨らませます。日本の行事に合わせて、製作をしていきます。絵具や紙粘土、様々な感触あそびを通して作る面白さを積み重ねていきます。							
	言語コミュニケーション	”要求””気持ち””意思表示””表現する力”を保育者やお友だちと共に大切に、コミュニケーション、人との2項関係を気づいていきます。言語という面では、様々な要求手段、表現方法について、子どもにあった表現手段を家族共に検討し、支援していきます。							
	人間関係社会性	毎日同じ子どもたち、保育者集団、クラス環境で過ごすことで、保護者の方も含めて安心して生活をしていきます。ふれあいあそびでは保育者からお友だちへも広げて一緒に楽しみます。生活やあそびでお友だちと一緒に直接的に関わる経験も積み重ねていきます。園内での活動だけでなく、社会資源を用いたり、地域の公園に出かけての取り組みや、地域の保育園との交流保育も実施しています。							
家族支援	・水曜日は親子で登園しています。親子あそび～全体またはクラスごとに親子で過ごします。単独保育になっても親子であそぶ取り組みを大切にしています。（親子プール）～地域のプールを利用し、プールの中で親子で触れ合って楽しくあそびます。			移行支援		就園・就学に向けて学習会、交流会を積み重ねていきます。各家族に合わせて、懇談等を行い、移行支援がスムーズになるように、書面、訪問等を行います。保育所等訪問支援事業を実施しながらアフターケアを実施しています。			
地域支援・地域連携	地域の保育所との交流保育を実施したり、園庭を地域の方に向けて開放を行い、あそぶ場と伝承あそびを伝える場を作っています。また、いつでも相談できる環境を作っています。			職員の質の向上		職場内での研修だけでなく、法人全体での研修や社会資源や本人支援、発達理解、あそびづくり、虐待防止、人権等の研修も行っていきます。よりよい支援をつなげられるようにします。			
主な行事等	（保護者研修）～様々な研修を通して、発達や障害、子育てを学び、お母さん自身のリフレッシュなどを取り組みます。入卒園式・季節の行事・家族での参加行事（運動会・まとめの行事）年長児の単独保育・長時間保育・親子宿泊・各月の誕生日会・人形劇鑑賞								